

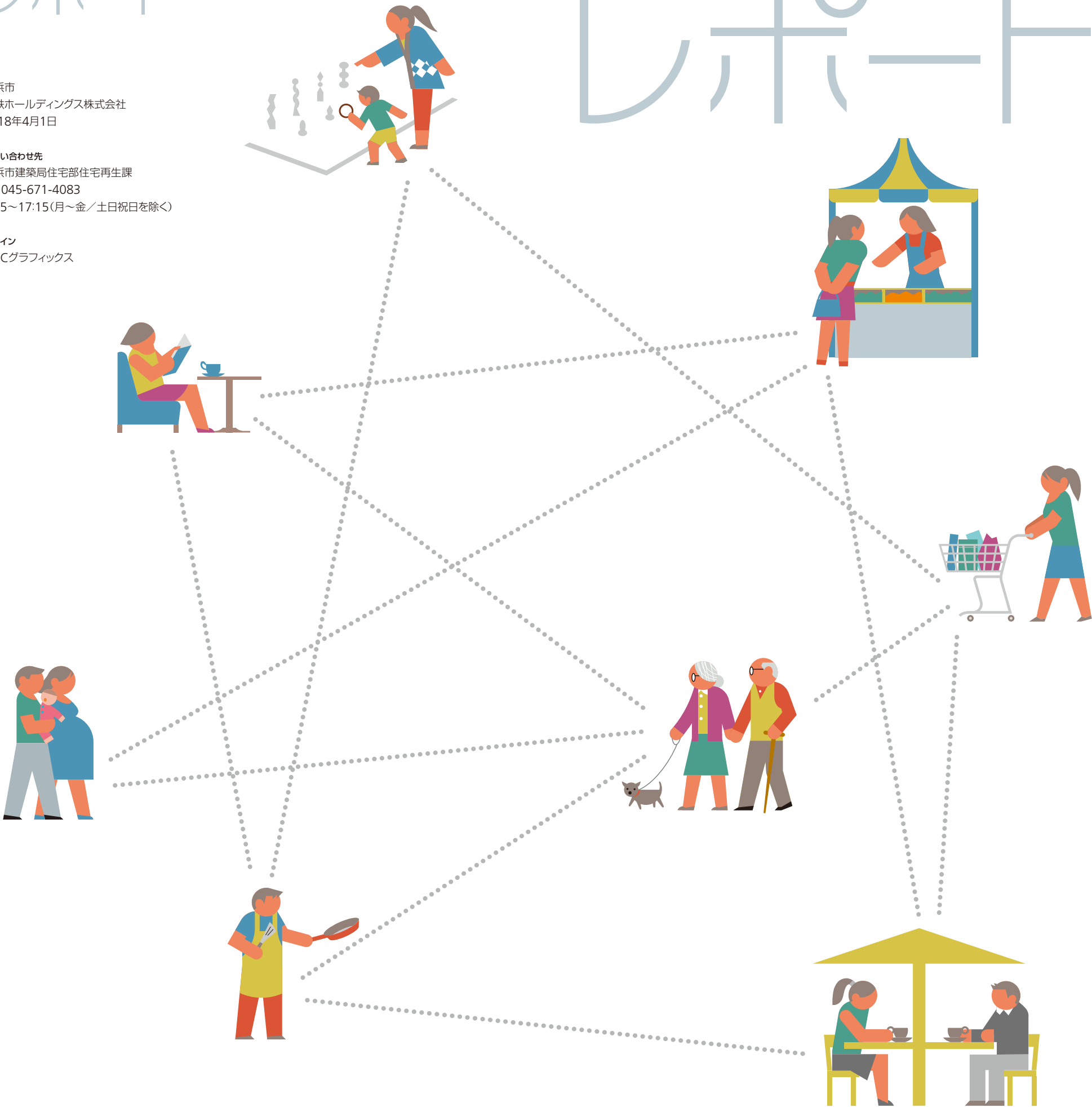
レポート

発行
横浜市
相鉄ホールディングス株式会社
2018年4月1日

お問い合わせ先
横浜市建築局住宅部住宅再生課
Tel.045-671-4083
8:45～17:15(月～金／土日祝日を除く)

デザイン
NDCグラフィックス

レポート

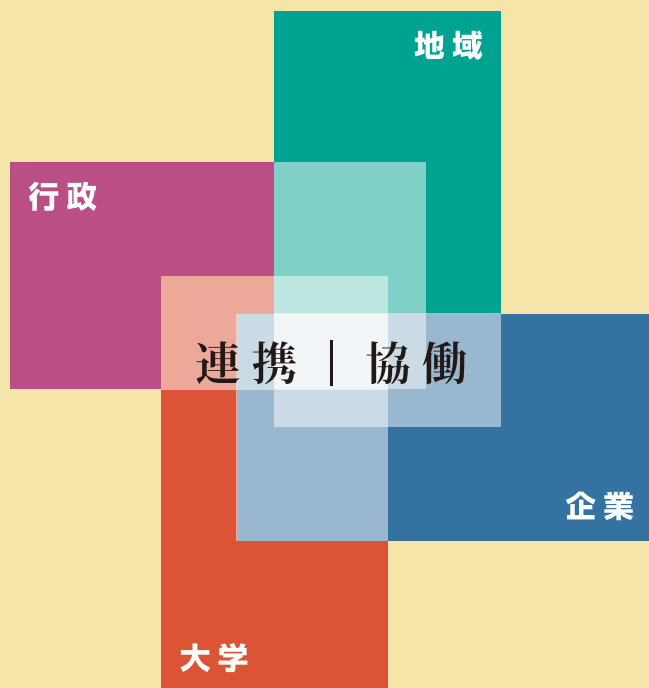




誰もが住みたいと思うまち

1976年 二俣川駅からいずみ野駅間の開通を皮切りに、相鉄いずみ野線沿線の開発はスタートしました。それから約40年、横浜市の西部 旭区、泉区に広がる豊かな自然と農地に囲まれたこの地域は、良好な住環境を実現し、活発な市民活動が行われるまちに成長してきました。2019年度下期にはJR線と、2022年度下期には東急線と相互直通運転が開始予定であり、新横浜都心や東京都心へのアクセスが改善されることで、来街者の増加や人口流入など新たな効果が期待されています。一方、住民の高齢化や若年層の流出、インフラの老朽化や耕作放棄地の増加など、横浜市の郊外が共通に抱える課題もあります。

横浜市と相鉄ホールディングス株式会社は、このような課題を解決し、地域の魅力をもっと高めていくために2013年4月に「相鉄いすみ野線沿線の次代のまちづくりの推進に関する協定」を締結。2016年6月に横浜国立大学、フェリス女学院大学と「相鉄いすみ野線沿線における『次代のまちづくり』の推進に係る四者連携覚書」を締結し、「相鉄いすみ野線沿線 環境未来都市」の取組を行っています。このレポートは、地域住民の方々とともにこれまで行ってきた取組をまとめたものです。皆さまにいっそう愛される「いすみ野線沿線の未来」を創造し、次代を担う子どもたちを地域で育み、愛着と誇りを持てるまちにしていくために。このレポートをヒントに「誰もが住みたいと思うまち」を、一緒につくっていきましょう。



産学官民の連携・協働による、沿線の魅力を活かした取組です

まちづくりをすすめるためには、さまざまな方々に参加いただき、継続的に取り組んでいく必要があります。いずみ野線沿線では、産学官民が連携して、沿線全体でまちの魅力を高めています。



- **地域 × 企業 × 大学 × 行政**
沿線にお住まいの皆さまや、企業、大学、行政がパートナーとして連携・協働しながら、主体的にまちづくりを進めています。



- **沿線の地域資源を生かした価値創造**
「市民の皆さまが持つ豊富な知識や経験」「豊かな自然環境」などの地域資源や、「今後改善される都心への良好なアクセス」を最大限に活用しながら、まちの価値創造を行います。



- **横浜市環境未来都市計画による、持続可能なまちづくり**
横浜市環境未来都市計画の主要な取組である「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」のひとつとして位置づけ、地域課題の解決に取り組み、持続可能なまちづくりを行います。

楽しく快適に生活するために



6 いずみ野線沿線駅前街区リノベーション計画

相鉄グループでは、成長戦略ロードマップ“Vision100”で掲げた「いずみ野線沿線駅前街区リノベーション計画」を進めています。

2014年 | いずみ野

地域の農的資源を活かした地産地消の推進や、
多様な世代が集い交流できる地域密着型施設の創出。

- ◎ ホームセンター ◎ 地産地消レストラン
- ◎ 地域ケアプラザ ◎ 乳幼児一時預かり保育所

2016年 | 南万騎が原

住み替え循環を進め、幅広い世代が安心して居住できる
次世代型の郊外住宅地のモデル事業として展開。

- ◎ 認可保育園 ◎ 学童保育 ◎ 病児保育室
- ◎ デイサービス ◎ 自立型サービス付き高齢者向け住宅
- ◎ 賃貸マンション ◎ 分譲マンション ◎ みなまきラボ

2017年 | 弥生台

医療と食、コミュニティを軸に日常生活をサポートするまちづくり。

- ◎ 国際親善総合病院サテライトクリニック
- ◎ 飲食店(相鉄名店プロジェクト) ◎ 歩行者空間のアーケード

いずみ野駅前



南万騎が原駅前



弥生台駅前



M i n a m i M a k i g a h a r a A r e a M a p

南万騎が原駅周辺マップ



相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市 みらいに向けた まちづくりイメージブック 2015

地域の皆さまや企業、大学、行政など、
さまざまな主体が
協働・連携を進めていくために
まちのイメージを共有し、
状況の変化に応じて
柔軟に取り組むためのガイド
「イメージブック」をまとめました。

発行
横浜市 | 相鉄ホールディングス株式会社
2015年11月
www.izuminoline-fcp.jp/pdf/imagebook2015.pdf

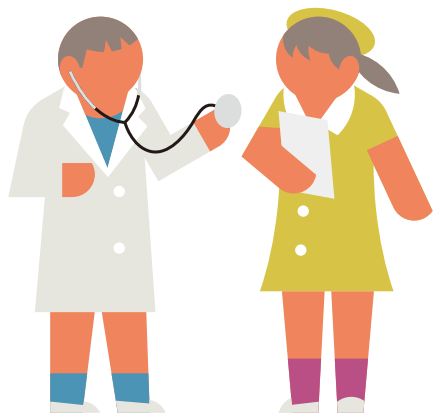


ヨコハマネイチャーウィーク2017

市内最大級
「こども自然公園」まで
徒歩7分



次代を担う子どもたちに向けて



8

2017年9月7日・8日
横浜いずみ台病院での職業体験

いずみ野小学校6年生の児童たちが、総合的な学習の一貫として、横浜いずみ台病院を訪れ医療現場の職業体験を行いました。横浜いずみ台病院は、医科および歯科の外来部門、透析部門、入院部門を有する地域に根ざした病院です。参加した52名の児童たちは、スタッフの丁寧な説明に真剣に耳を傾けながら医療現場に触れ、貴重な職業体験となりました。



スタッフから説明を受ける児童たち



プロジェクトのきっかけ

以前から地域行事に積極的に参加していた病院側から、小学生と一緒に何かできないかと提案があった。いずみ野小の児童にとって、農業体験は多く行ってきたが医療の分野は未体験。総合の授業での職業体験が実現した。

9

2017年10月18日・11月16日
小学生へのまちづくり授業

10月には、さちが丘小学校3年生の児童が、総合的な学習の一貫で南万騎が原駅周辺リノベーションプロジェクトエリアを回り、まちづくりについて学びました。また11月には万騎が原小学校6年生に、二俣川と南万騎が原のまちづくりについて授業を行いました。児童にとっては身近なエリアですが新たな発見も多く、自分たちのまちを深く理解するいい機会となりました。



柏町市民の森とみなまきみんなのひろばを見学する児童



プロジェクトのきっかけ

「いずみ野線沿線 みらいに向けたまちづくり」のホームページを見た先生から横浜市に、児童たちにまちづくりについて教えてほしいと依頼があった。

地域の魅力をもっと知ってもらおう



10

2017年3月4日・12月17日
ヨコハマやさいレシピコンテスト 表彰式

第1回は「みんなで楽しむ料理」をテーマに2017年1月16日から2月15日に、第2回は「簡単お弁当レシピ」をテーマに9月2日から11月20日に、いずみ野線沿線で採れた野菜を使ったオリジナルレシピを募集しました。プロの料理人を審査委員長に迎えて厳正な審査が行われ、最優秀賞1点、優秀賞3点が選ばれました。3月4日、12月17日にそれぞれいずみ野駅前のイベントにて表彰式を開催しました。



- 「第1回」
- 最優秀賞
●ヨコハマ大根バーグ
優秀賞
●大根と鶏肉の豆乳酒粕煮
●ヨコハマ紫大根ステーキwith塩麹ソース
●里芋とカリフラワーの揚げ煮ころかし
- 「第2回」
- 最優秀賞
●えびが野菜を美味しくするおべんと
優秀賞
●キャベバーグ〜ピーマンのお花のせ〜
●野菜が美味しい彩りおいなりさん弁当
●彩り野菜と卵サンドの「いずみのらんち」お弁当



プロジェクトのきっかけ
地域に住み、食や農業をテーマに人と人をつなぐ活動をしているウェブプロデューサーから、地元の野菜を使って地域の人、生産者、飲食店をつなぐ取組をしたいと相談があった。

2017年9月2日

いずみ野マルシェ^{プラス}+

11

地産地消の推進や地域主体のつながりの創出、まちへの愛着心向上を目的に、平成26年6月からいずみ野駅前広場で開催している恒例マルシェ。11回目を迎えるこの日は、初めての試みとして昼と夜の2部制導入や、ケアプラザの参加など、今までとは少し違う「+（プラス）」として開催しました。当日は約7,500名が参加。沿線だけでなく沿線外からも多くの方々にお越しいただきました。



いずみ野小の児童による太鼓の演奏



地元野菜の販売



プロジェクトのきっかけ
いずみ野地域の特徴である、農の取組をより多くの市民の方々につなげていくために企画された。

自分のまちをもっと好きになろう



12

2017年11月11日 みなまきピクニック

南万騎が原駅前にて、まちづくり拠点「みなまきラボ」の主催、地域の方たちによるみなまきピクニック応援隊の協力で、家族で遊べるマルシェ「みなまきピクニック」を開催しました。南万騎が原にお住まいの方々による手作り雑貨の販売やワークショップ、音楽やパフォーマンスのステージなどで、約1,500名のお客さまに楽しんでもいただきました。



地域のママたちによるステージ



横浜国立大生が作ったみなまきワゴンでのワークショップ



プロジェクトのきっかけ
みなまきラボでの活動を行う中で生まれた、地域のママさんとのつながりから、駅前で雑貨販売を主体とするマルシェを開催。ステージでのパフォーマンスやワークショップも、地域の力で行われた。



13

2016年7月23日・2017年7月22日 高校生が南まきが原自治会夏祭りへ参加

南万騎が原駅前の柏町北公園にて、南まきが原自治会主催の夏祭りが開催され、県立横浜緑園高等学校の生徒がボランティアとして参加しました。射的、人形すくい、輪投げ、つかみどり等の縁日のお手伝いを通し、地域子どもたちをはじめ、幅広い世代の方々と交流を深めました。平成29年から普通科高校になり、「自己啓発活動」の一環として行われました。2年目は運営だけでなく設営から参加、合唱部・ダンス部が日頃の練習の成果を発表しました。



多くの子どもたちで賑わう公園



縁日の手伝いをする生徒



プロジェクトのきっかけ
横浜市が自治会より、夏祭りの担い手として地域の若者が不足していると相談を受け、横浜緑園高校に協力依頼を行った。

これまでの取組が評価されました



- 14
- 受賞歴
- 南万騎が原
- 2013年_____国交省住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業
- 2015年_____国交省スマートウェルネス住宅等推進モデル事業
- 2016年_____グッドデザイン賞、ウッドデザイン賞
- 2017年_____横浜・人・まち・デザイン賞
- 2017年_____よこはま多世代地域交流型住宅第1号認定

- 緑園都市
- 2016年_____フェリス女学院大学・地域の方々
チャレンジ!!オープンガバナンス ファイナリスト
- 2017年_____フェリス女学院大学エコキャンパス研究会
横浜環境活動賞(児童・生徒・学生の部)大賞
- 2018年_____緑園地区活性化委員会
横浜環境活動賞(市民の部)実践賞

- 弥生台
- 2017年_____レストラン ペタルドゥ サクラ 横浜・人・まち・デザイン賞

- いすみ野
- 2017年_____株式会社よこはまグリーンピース
横浜環境活動賞(企業の部)大賞

さまざまな方面から視察いただきました

- 2016年12月14日 国交省住宅局 市街地建築課
- 2017年5月18日 マレーシア・セベランブライ市
- 2017年7月14日 愛知県稲沢市
- 2017年8月2日 京都府議会
- 2017年9月7日 高齢者住宅推進機構 加盟団体
- 2017年11月17日 大都市建築・住宅企画庶務担当者会議
(国土交通省、東京都ほか全国の政令指定都市)
- 2018年1月19日 内閣官房

ほか、各鉄道会社をはじめさまざまな企業の皆さまにいらしていただきました。

これまで多くの方々と 取組を行ってきました

- 学校
- 横浜国立大学
- フェリス女学院大学
- 二俣川看護福祉高校
- 横浜緑園高校
- いすみ野中学校
- さちが丘小学校
- 万騎が原小学校
- 緑園東小学校
- 緑園西小学校
- 新橋小学校
- いすみ野小学校
- 和泉小学校
- 飯田北いちよう小学校

- 地域
- 緑園地区活性化委員会
- 緑園コミュニティ協会(RCA)
- 南まきが原自治会
- 柏町市民の森愛護会
- 万騎が原地域ケアプラザ
- 新橋地域ケアプラザ
- いすみ野地域ケアプラザ

- 福祉施設
- ぴぐれっと
- ぶどうの樹
- でっかいそら
- 開く会
- (共働舎、ファールニエンテ)

- 企業
- 地域計画研究所
- 山路商事
- 日本環境設計
- 横浜いすみ台病院
- カインズ横浜いすみ野店
- ど根性キッチン(濱の料理人)
- 話芸写
- プチドゥル緑園都市店
- ミトチャ緑園都市店
- ともしび
- ペタルドゥ サクラ
- ヴィド・フランスいすみ野店
- 焼き菓子工房あんな

- みなまきラボ
- オンデザインパートナーズ
- stgk inc.
- 横浜コミュニティデザイン・ラボ
- 山手総合計画研究所
- NOGAN
- ソトノバ
- ハマのトウダイ
- どろんこクラブ
- ハツ橋農園
- ははのす
- サニーママダンススクール
- ひなたぼっこ
- まちづくりポット

ほか多数の皆さま[順不同]

一緒に魅力あるまちをつくりましょう

-
- 横浜市建築局住宅部住宅再生課
-
- 相鉄ホールディングス株式会社

www.izuminoline-fcp.jp

